

黒木 登志夫（くろき としお）

現職：日本学術振興会学術システム研究センター顧問
元岐阜大学長（名誉教授）・東京大学名誉教授
WPI アカデミーディレクター

略歴：

1960年東北大学医学部卒。インターンを経てがん研究に入る。
東北大抗酸菌病研究所（現加齢医学研究所）肺癌研究部助教授（1967年）、東京大学医科学研究所
癌細胞研究部助教授(1971年)を経て、1984年から1996年まで同教授。
この間、米国ウイスコンシン大学に留学（1969-1971年）、WHO国際がん研究機関（フランス・
リヨン市）に勤務した（1975-1978年）。1996年3月東京大学退官。
1996年4月より2001年5月まで昭和大学腫瘍分子生物学研究所所長。
2001年6月より2008年3月まで岐阜大学長。
2008年4月より日本学術振興会学術システム研究センター副所長、相談役を経て2012年4月より
現職。
2008年1月-2017年3月、WPIプログラムディレクター
2017年4月よりWPIアカデミーディレクター

専門：がんの細胞生物学。

主な受賞

1970年試験管内発がん実験成功により、第4回高松宮妃癌研究基金学術賞受賞。
1998年日本癌学会吉田富三賞（試験管内発がん、シグナル伝達研究、がんの解説書に対して）
2017年“山上の光”賞受賞

学会会長

2000年日本癌学会会長

発表論文著書

英文発表論文：約310編

一般向け編著書

1. 『がん細胞の誕生』朝日選書284、朝日新聞社、1989年
2. 『がん遺伝子の発見』中公新書1290、中央公論社、1996年
3. 『科学者のための英文手紙の書き方』朝倉書店、1984年

4. 『細胞内のシグナル伝達』(編) 日経サイエンス社、1996年
5. 『分子生物学のための、新培養細胞実験法』 羊土社、1999年
6. 『健康・老化・寿命』 中公新書、2007年
7. 『落下傘学長奮闘記』 中公新書ラクレ、2009年
8. 『知的文章とプレゼンテーションー日本語の場合、英語の場合ー』 中公新書、2011年
9. 『iPS細胞 不可能を可能にした細胞』 中公新書、2015年
10. 『研究不正 - 科学者の捏造、改竄、盗用』 中公新書、2016年